

# 文化プログラムに関する主な 取組について（平成29年度）

平成29年5月26日

文 化 庁

# 文化プログラムの全国展開に向けた取組

## 【周知・発信】

1. 文化情報プラットフォームの構築・発信 .....P2  
(beyond2020の認定も合わせて開始)
2. ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」の作成 .....P3
3. 文化プログラムシンポジウム等を通じた周知 .....P4

## 【具体的なプロジェクトの展開】

4. 全国各地の有形・無形の文化資源を掘り起こし、その積極的な活用や  
新たな文化振興モデルの構築を図る取組 .....P5
5. 総合的にアーツプロジェクトを企画・実施できる人材育成とそのネットワーク  
形成を図るための取組 .....P6

- 参考資料 .....P8

# 1 文化情報プラットフォームの構築による情報発信

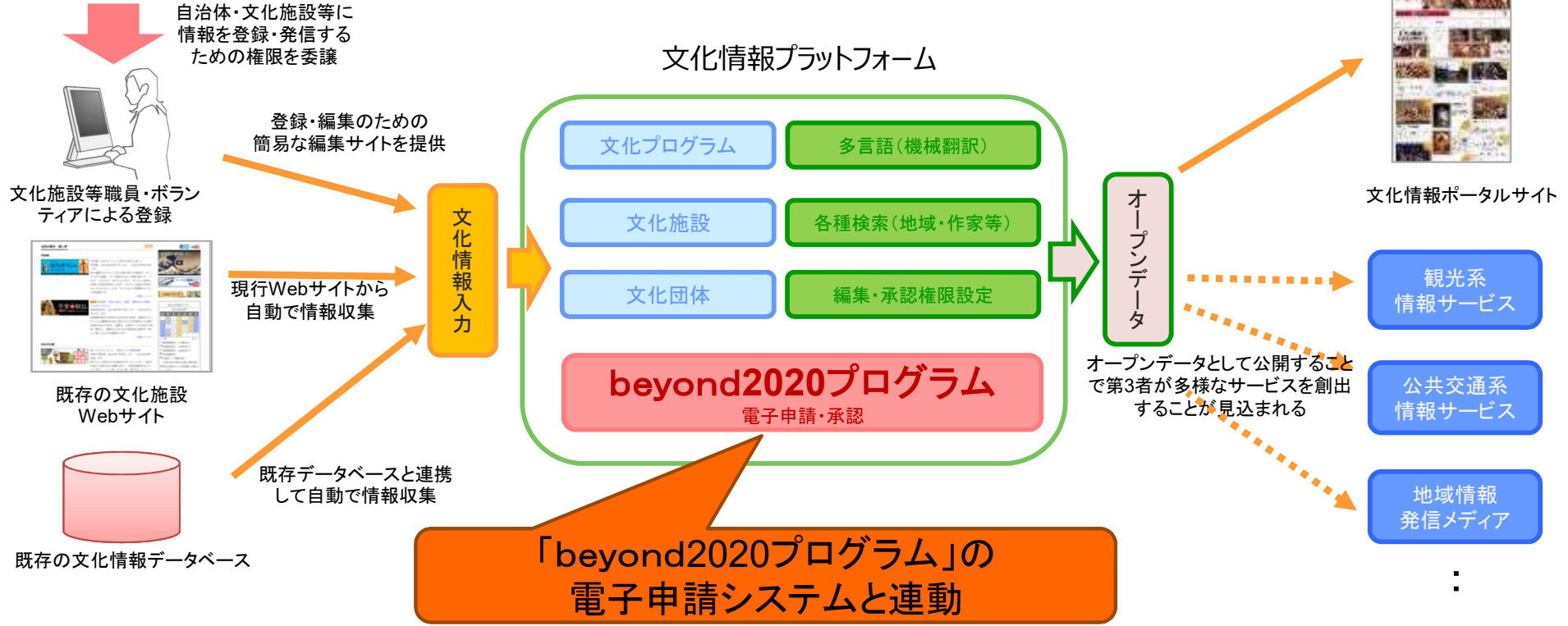
## 概要

全国各地で実施される文化活動や文化施設の情報を集約するプラットフォーム(データベース)を構築し、当該情報を国内外に発信することを目指す。これにより、地域の文化資源を発掘し、文化芸術の振興や観光・経済の振興に貢献し、2020年以降のレガシーとする。

## 運用イメージ

平成29年5月26日(金)から運用開始 <http://culture-nippon.go.jp>

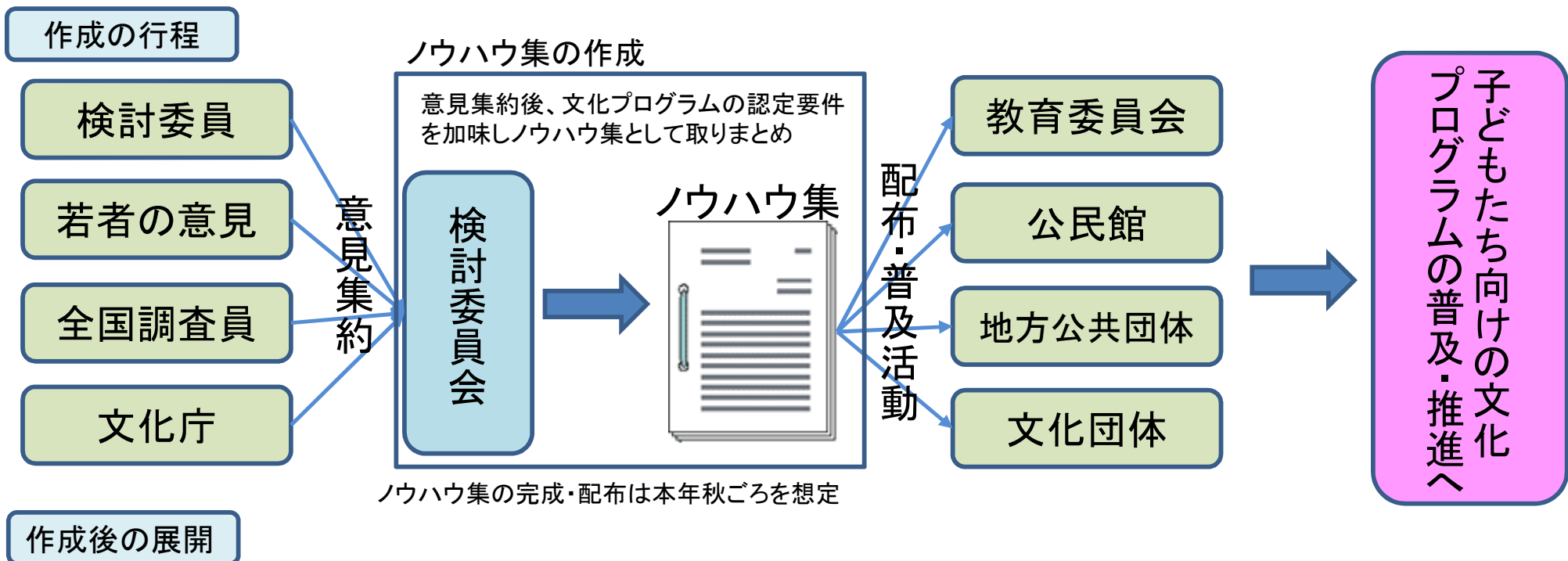
- ・文化芸術活動の見える化・発信を促進する観点から、文化庁が「文化情報プラットフォーム」を構築
- ・自治体、文化施設、イベント主催者、ボランティアなど多くの協力を得ながら、オープン方式での運営を目指す共通の枠組み
- ・登録された情報はオープンデータとして提供し、民間事業者による多様なサービスの創出を促進
- ・機械翻訳エンジンを活用し、英語、中国語、韓国語、フランス語など多言語での情報発信を目指す



## 2 ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」の作成

■オリンピック・パラリンピック大会は、オリンピック憲章にも位置付けられているように、「スポーツの祭典」であると同時に、「文化の祭典」でもある。オリンピック・ムーブメントをオール・ジャパンで盛り上げていくため、2020年に向けて様々な文化事業(文化プログラム)を実施していくことが重要であるが、特に将来を担う子どもたち(小学生・中学生)が参加できる仕組みを構築することが求められている。

■今後、各学校は教育課程の内外を通じて、各種文化プログラムを盛り込んでいくことが望まれるが、その企画立案の一助となるよう、ノウハウ集「あなたにもできる文化プログラム」を策定・提供し、2020年以降のレガシーとすべく、文化プログラム推進を一層進めたい。



■ノウハウ集を全国の教育委員会に配布し、早ければ2018年度、遅くとも2019～2020年度にすべての小中学校において文化プログラムの実施を目指す。これらは同時に「beyond2020」の認証プログラムとして、文化庁が作成する「文化情報プラットフォーム」へも掲載し、全国の教育関係者のみならず、世界に向けても取り組みを発信していく。

### 3 文化プログラムシンポジウム等を通じた周知

文化プログラムの機運醸成、広報普及、ノウハウ創出に関するシンポジウム等を開催

## 趣旨

文化プログラム実施に向けた機運を醸成するため、認証制度や認証された優良事例の広報普及を行うとともに、地域社会がその文化資源を発掘し、国内外に効果的に発信するためのノウハウを創出するため、シンポジウム等を開催するものである。

## 内容

### 1. 文化プログラムの広報・普及

- (1) 広報物の制作等(チラシ、ポスター、動画、パネル、SNSなど)
- (2) 優良事例等の発信(文化プログラムに認定された事業をパブリックスペース等でパネル・映像を展示)
- (3) 番組制作・グッズ等の検討

### 2. シンポジウム等の開催

- (1) 文化プログラム実施に向けた機運の醸成と、地域の文化資源の発掘・発信のためのシンポジウムを全国3か所程度で実施
- (2) 報告書作成、ネット配信、取材誘致等



●昨年実施●

文化プログラムシンポジウム

写真左:新潟、写真中:栃木、写真右:大阪【(C)関西・大阪21世紀協会】

## 日本遺産の物語と実演芸術の双方の魅力を高めるプロジェクト

### ■ 題目

2020”たからもの”に出会う旅～日本遺産×Live Art～

### ■ 受託団体

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会(芸団協)

### ■ 活動概要

日本遺産として認定されている伝統建築等の空間で、多様な実演芸術・芸能を上演。地域と連携し、土地の独自性を活かしながら、日本遺産と実演芸術の双方の魅力を相乗的に高めるイベントを創る。

《全国の“たからもの”発見キャンペーン(仮称)》として国内の複数個所で実施し、継続的に全国発信することにより、日本遺産を活用した観光振興・地方創生の機運を高める。

### ■ 実施内容

- ① 5府県(京都・福井・島根など)6カ所で、全10公演(各所2公演)を予定。
- ② 著名人を『旅人』として起用し、公演の進行役やイベントの魅力をWEBで発信する。
- ③ 共同通信社『中高生プレスセンター』や地域ブロガーと協力して、魅力を発信する。



● 実演イメージ ●

太鼓谷稲荷神社(島根県)と箏曲・尺八演奏

## 5. 総合的にアーツプロジェクトを企画・実施できる人材育成とそのネットワーク形成を図るための取組

### ①芸術系大学連携による「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト

■ 題目  
アーツ人材育成プロジェクト ～若い力を中心とした文化芸術による地方創生を目指して～

■ 受託団体  
国立大学法人 東京藝術大学

■ 活動概要  
平成28年7月設立の全国芸術系大学コンソーシアム(現在56校参画)が連携・協力し、文化芸術アソシエイツの育成プログラムを実施する。国や地域等の核となる若手アートマネジメント人材を輩出し、多様な文化活動を推進することで地方創生や観光振興、地域社会の活性化の一役を担うことを目指す。

- 実施内容
- ①文化芸術アソシエイツ人材育成プログラム加盟大学から研修生を公募し、プロジェクト・コーディネーター(指導教員)のもとで学ぶインターン制度を導入。  
個々の能力に応じた基礎講座と実践講座を実施する。
  - ②文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム
    - a.プロジェクト・コーディネーターによるアーツプロジェクト(①の実践講座として)
    - b.H28年度修了者によるアーツプロジェクト



●昨年実施●  
文化芸術アソシエイツ実施研修(気仙沼)

## ②全国に文化芸術プログラムを作り出すプロジェクトリーダー育成事業

### ■ 題目

文化芸術プロデューサーの研修プロジェクト

### ■ 受託団体

一般社団法人 非営利芸術活動団体コマンドN

### ■ 活動概要

地域の多様な文化的資源を活かした魅力ある文化プロジェクトの企画・実施に欠かせない「プロジェクトリーダー」育成のため、「プロジェクトスクール」を開校する。

スクール生は、第1線で活躍する講師陣から実践力のあるレクチャーを受けながら、スクール生自らが企画したプロジェクトを通して必要なスキルを習得する。

### ■ 実施内容

- ①「プロジェクトスクール」を開校(レクチャー及びプロジェクト実施)
- ②調査合宿(各地で展開されているプロジェクトの調査研究)
- ③ネットワークの構築(全国のプロジェクトリーダー間のネットワーク化・連携強化)



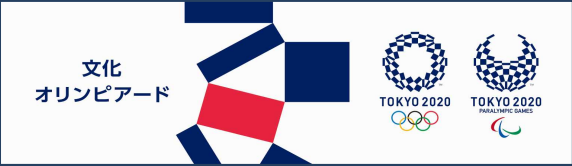


●スクール生による写真展と講師陣による受講風景●  
アーツ千代田3331(千代田区)



# 参 考 資 料

1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「文化プログラム」……………P9
2. 文化庁から申請した文化プログラムの認証状況について……………P11
3. 文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進……………P14
4. 2012年ロンドン大会における文化プログラム ……………P15

# 東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
	<b>東京2020文化オリンピックアード</b>		<b>beyond2020 プログラム</b>
プログラム	<b>東京2020公認 文化オリンピックアード</b>	<b>東京2020応援 文化オリンピックアード</b>	
概要	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施</p>	<p>「<u>オリンピック憲章</u>」に基づいて行われる公式文化プログラム</p> <p>非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。</p>	<p>2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム</p> <p><b>営利・非営利を問わず多様な団体が実施。</b></p> <p>※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可</p>
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、 <u>公式スポンサー</u> 、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、 <u>独立行政法人を含む非営利団体</u>	文化オリンピックアードの実施主体に加えて、 <u>公式スポンサー以外の企業も対象</u>
ロゴマーク			

# 各プログラムの認証要件

## 東京2020文化オリンピック

大会ビジョン、文化オリンピックのコンセプトを実現する事業内容かどうか総合的に審査

### 【大会ビジョン】

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

### 【文化オリンピックのコンセプト】

日本文化の  
再認識と継承・発展

次世代育成と  
新たな文化芸術の  
創造

日本文化の  
世界への発信と  
国際交流

全国展開による  
あらゆる人の  
参加・交流と  
地域の活性化

## beyond2020プログラム

日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、共生社会、国際化につながるレガシーを創出する取組かどうかを審査

### 【必須要件】

日本文化の魅力を  
発信する取組

+

障害者にとってのバリアを  
取り除く取組

又は

外国人にとっての言語の  
壁を取り除く取組

# 文化庁が主催・共催した文化プログラム：公認文化オリンピック23件、beyond3件

H29.5.30現在

## 文化庁から申請した文化プログラムの認証状況について

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)

※地方自治体等との共催を含む。

No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
1	文化庁芸術祭主催公演 オープニング「日本の四季」	文化庁芸術祭のオープニングイベントとして、邦楽・沖縄芸能・雅楽・日本舞踊の4ジャンルからなる華やかな伝統芸能を上演する。	10月1日	東京都 千代田区	国立劇場
2	文化庁芸術祭主催公演 10月歌舞伎公演 「仮名手本忠臣蔵」【第一部】	赤穂浪士の討ち入り事件を題材にした「仮名手本忠臣蔵」を上演する。	10月3日 ～ 10月27日	東京都 千代田区	国立劇場大劇場
3	文化庁芸術祭主催公演 アジアオーケストラウィーク(東京公演)	アジア地域のオーケストラとの交流を図り、アジア人による西洋音楽のスタンダードモデルの確立を目的に東京公演を実施する。	10月5日 ～ 10月7日	東京都 新宿区	東京オペラシティ
4	文化庁芸術祭主催公演 現代舞台芸術公演オペラ公演(ワルキューレ)	フィンランド国立歌劇場(ヘルシンキ)の協力の下、世界トップクラスの指揮者、歌手、オーケストラが最高水準の公演を創造する。	10月2日 ～ 10月18日	東京都 渋谷区	新国立劇場
5	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会 「文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～」	全国で文化プログラム実施を促進するためのキックオフイベントとして、各地の意欲的な取組の発表を行い、レガシーの創出等について議論する。	10月19日	京都府 京都市	ロームシアター京都
6	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて	文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向け、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に係る活動をテーマとしたシンポジウムを実施する。	10月21日	東京都 港区	国立新美術館
7	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 「ここからアート・デザイン・障害を考える3日間」	障害のあるアーティストが生み出す作品からなる展覧会等を通じて、障害の有無に関わらず調和して生きる取組を紹介する。	10月21日 ～ 10月23日	東京都 港区	国立新美術館
8	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム バリアフリー映画上映等実施・運営業務	聴覚障害者用のバリアフリー日本語字幕、視覚障害者用の音声ガイドを付して映画を上映する。併せて、バリアフリー映画に対する理解を深めるためのシンポジウムを実施する。	10月22日	東京都 港区	国立新美術館
9	国民文化祭・あいち2016	国民文化祭の愛知大会では「「愛故知新」～伝統を「愛」(いつく)しみ、新しきを「知」り、文化は動く～」のテーマの下、関連イベントを実施する。	10月29日 ～ 12月3日	愛知県 名古屋市	愛知県芸術劇場
10	国民文化祭・あいち2016 「食文化シンポジウム」	生活文化に深く関わる食文化を見つめなおし、海外に誇るべき日本の食文化への理解促進を図るためのシンポジウムを実施する。	11月16日	東京都 中央区	浜離宮朝日ホール

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)					
No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
					※地方自治体等との共催を含む。
11	文化庁メディア芸術祭20周年企画展 —変える力	「変化」をキーワードに、これまで20年間の歩みを振り返りつつ、作品が持つ「変える力」に焦点を当てることで、メディア芸術の未来について考察する。	10月15日 ～ 11月6日	東京都 千代田区	アーツ千代田3331
12	文化庁メディア芸術祭新潟展 「記憶と記録のモノ澗り」	優れたメディア芸術と優秀なアーティストに接する機会を提供することによって、メディア芸術の理解を深め、発展に資することを目的とする。	10月10日 ～ 10月30日	新潟県 新潟市	COXMIXビル
13	「実演芸術連携交流事業」シンポジウム 『実演芸術で世界とつながる～アジアのオーケストラの事例から』	アジアオーケストラウィークとの協力により国内外の芸術団体・劇場・音楽堂等の専門家同士の情報共有とネットワーク形成を目指すシンポジウムを実施する。	10月6日	東京都 新宿区	東京オペラシティ
14	文化芸術創造都市推進事業 「自治体サミット」	文化芸術を核に地域づくりに取り組む地方自治体の先進的な取組を紹介するシンポジウムを実施する。	10月19日	京都府 京都市	京都市勧業館
15	危機的な状況にある言語・方言サミット (奄美大会)・与論	危機的状況にある言語・方言の状況改善につなげることを目的とした大会を実施する。	11月13日	鹿児島県 与論町	与論町総合体育館
16	神社・仏閣・能楽堂などを活用した実演芸術拠点の形成プロジェクト(和の空間を活用した伝統文化発信)	神社・仏閣・能楽堂等を活用した地域の芸能を活かした実演芸術の鑑賞機会を提供する。	12月4日 ～ 12月18日	沖縄県 那覇市 新潟県 新潟市 東京都 墨田区	波上宮ほか (新潟りゅうとぴあ、両国・回向院)
17	とちぎの元気を世界に！～とちぎ版文化プログラムを考える～	とちぎの文化資源の発掘・育成し、とちぎ版文化プログラムへの参加協力を促し、県内各地での文化による地域づくりの方向性を議論する。	12月21日	栃木県 宇都宮市	栃木県総合文化センター
18	文化プログラムシンポジウムin新潟	地域固有の文化プログラムづくりを推進し、地域ごとに文化プロデュースを担う人材の発掘を目的としたシンポジウムを実施する。	12月18日	新潟県 新潟市	りゅうとぴあ新潟市民芸術文化会館
19	未来を担う美術家たち 19thDOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果	文化庁新進芸術家海外研修制度により海外の機関・作家のもとで研修した新進芸術家たちの展覧会を実施する。	12月10日 ～ 2月5日	東京都 港区	国立新美術館
20	文化プログラムシンポジウムin大阪	官民連携で地域文化発信を目的としたシンポジウムを実施する。	3月2日	大阪府 大阪市	国立文楽劇場

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)					
No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
21	東アジア文化都市2017京都オープニング関連事業	日中韓3か国の東アジア文化都市が文化交流を行うとともにさまざまな文化芸術イベント等を実施する。	2月18日 ～ 3月19日	京都府 京都市	ロームシアター京都メインホール
22	東アジア文化都市2017京都(平成29年度事業分)	日中韓3か国の東アジア文化都市が文化交流(アーティストの相互派遣)を行うとともに現代美術、舞台芸術、マンガアニメなどの文化芸術イベントを実施する。	4月1日 ～ 11月19日	京都府 京都市	ロームシアター京都メインホール
23	障害者の文化芸術国際交流事業「2017ジャパン×ナントプロジェクト」	日本の障害者による優れた芸術文化を世界に発信し普及促進を展開する。	10月19日 ～ 1月14日	フランス ナント市	フランス国立現代芸術センター

※東京2020応援文化オリンピックについては、対象外のため該当なし

beyond2020プログラムにおける取組(文化庁主催)					
No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
※地方自治体等との共催を含む。					
1	文化プログラムシンポジウムin大阪(再掲)	官民連携による地域文化の発信や文化資源の産業化に関するシンポジウムを実施する。	3月2日	大阪府 大阪市	国立文楽劇場
2	フライデー・ナイト・ミュージアム@上野	美術館・博物館が連携し、夜間開館を活用したナイトプロジェクトを実施することで新たな文化発信拠点・観光拠点としての活用を目指す。	2月24日 ～ 3月31日	東京都 台東区	東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館、上野公園一帯
3	芸術系大学連携による人材育成型アートプロジェクト	地域社会と協働しながら文化プログラムを企画実施する人材を育成するためのプロジェクトを全国芸術系大学コンソーシアムと連携して実施する。	1月23日 ～ 6月30日	東京都 千代田区 宮城県 気仙沼市 熊本県 熊本市	文化庁ほか

# 文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進

(28年度予算額 317億円)

29年度予定額 329億円

## 趣旨

文化芸術立国の実現に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活かし、地域の文化芸術活動への支援等を通じて多様な文化芸術の発展や文化財の活用を図り、もって文化プログラムの推進を図る。

## 【文化芸術の振興に関する基本方針(平成27年5月閣議決定)】

文化プログラム等の機会を活用して、全国の自治体や芸術家等との連携の下、地域の文化を体験してもらうための取組を全国各地で実施する。リオ大会の終了後にオリンピックムーブメントを国際的に高めるための取組を行い、文化プログラムの実施に向けた機運の醸成を図る。

## 文化プログラムの取組

### ■文化庁が主催するプロジェクト

- ✓文化庁主催による公演・展覧会・シンポジウム
- ✓文化芸術立国実現のための基盤整備に関する取組 等

### ■地方公共団体、民間が主催する取組を文化庁が補助するプロジェクト

- ✓劇場や博物館、芸術団体等による公演や展覧会等への支援
- ✓文化財や文化芸術による地域活性化に関する事業への支援 等

### ■地方公共団体、民間等が主体的に取り組むプロジェクト

- ✓地域のお祭り等、全国津々浦々で実施される草の根的な取組を情報発信

## 29年度予定額（主な事項）

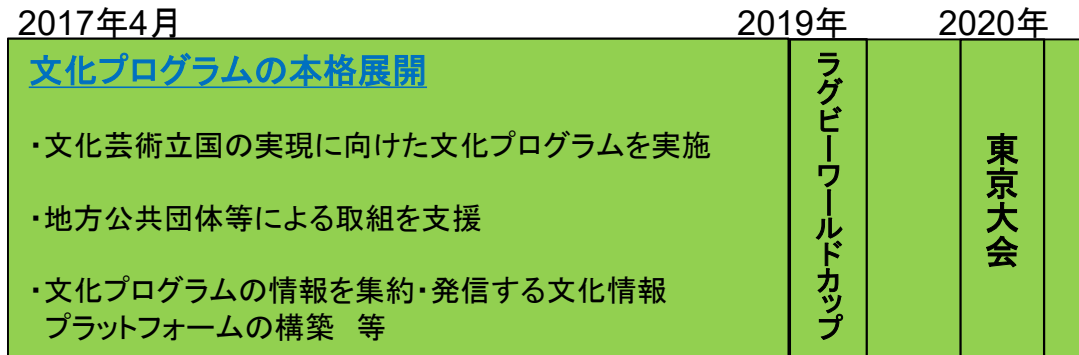
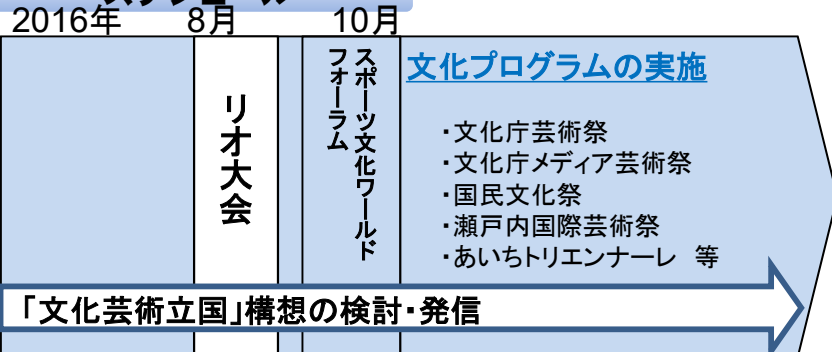
### 1 国が地方自治体、民間とタイアップした取組の推進 **323億円**

- ①文化庁が主体の取組
  - ・「文化庁芸術祭」、「文化庁メディア芸術祭」、「国民文化祭」、「全国高等学校総合文化祭」等を主催
- ②地方公共団体や民間が主体の取組
  - ・地域の文化芸術資源を磨き上げ活用する取組や、芸・産学官連携による持続的な地域経済の発展や社会的包摂の取組などへの支援
  - ・芸術団体等によるトップレベルの舞台芸術活動等への支援
  - ・芸術文化の世界への発信への支援 等

### 2 文化プログラム推進のための基盤整備(一部再掲) **9億円**

- ①国立文化施設の機能強化
  - ・訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、国外への情報発信の強化
  - ・夜間開館の拡充
- ②多言語対応等による訪日外国人対応等
  - ・公立、私立の美術館・博物館、地域の劇場・音楽堂等における訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、外国語対応可能なボランティアの育成等

## スケジュール



# 2012年ロンドン大会における文化プログラム



## 【文化プログラム開催概要】

時期: 北京五輪終了後(2008年9月)からロンドン五輪終了時(2012年9月)まで

場所: 英国全土で1,000箇所以上

イベント総数: 約11万7千件

(音楽、演劇、ダンス、美術、文学、ファッション、映画、展示会、ワークショップ等)

参加アーティスト: 40,464人(うち6,160人が若手アーティスト、806人が障害のあるアーティスト)

総参加者数: 約4,340万人

実施団体: 組織委、アーツカウンシルイングランド、文化・メディア・スポーツ省(国)、ロンドン市、レガシートラストUK、その他自治体等

メジャー・プロジェクト例: 世界シェークスピアフェスティバル(シェークスピアの戯曲を37カ国による37の異なる言語で実演)  
アンリミティッド(身体に障害のあるアーティストによる上演・展示)

## 【文化プログラムによる効果】

### ① 文化レベルの向上

- 新たな作品の創造(5370作品の誕生)、文化、企業、教育、自治体等の**新たなパートナーシップの誕生(10,940)**
- 文化プログラムで創出されたプロジェクトの半数が2012年以降も継続(ファンディング等により)

### ② 幅広い層への文化活動への参画

- 参加者4,340万人。参加者やメディアにおける高い評価。参加者アンケートで8割以上が期待以上と回答

### ③ 観光産業への貢献

- 外国人観光客の集客は、**2012年から2013年で約5.2%の伸び率**
- 2012年の英国の国のブランドランキングでは、文化関連の項目の評価が向上(1ポイント)したことにより、**英国は順位を1つ上げて4位に(ロンドンのブランドランキングは、2012年に1位に)**

### ④ 自国文化の誇り、子ども・若者の自尊感情の醸成、障害者への理解、障害者アーティストの活躍等